



数多くの泌尿器科手術を手掛けてきた勤務医時代
「細やかな対応ができる診療に挑戦したい」と独立開業を決意

「二人の兄は経済と工学を専攻。私は違う道、それも命に繋がる仕事ができれば」と、医学の道へ。医学部卒業後、専門として選んだのは泌尿器科。「診断から手術を含めた治療まで一貫して担えるところが魅力的に映りました」

みなさんは泌尿器科の病気をどれだけご存じだろうか。腎臓・尿管・膀胱・尿道の尿に関わる臓器の疾患及び男性生殖器である前立腺・精巣・陰茎に関わる疾患を専門とする科で、感染症・結石・悪性腫瘍・排尿障害・先天異常など、男女を問わず子どもからお年寄りまで罹患する様々な疾患を、一手に引き受けて治療している。

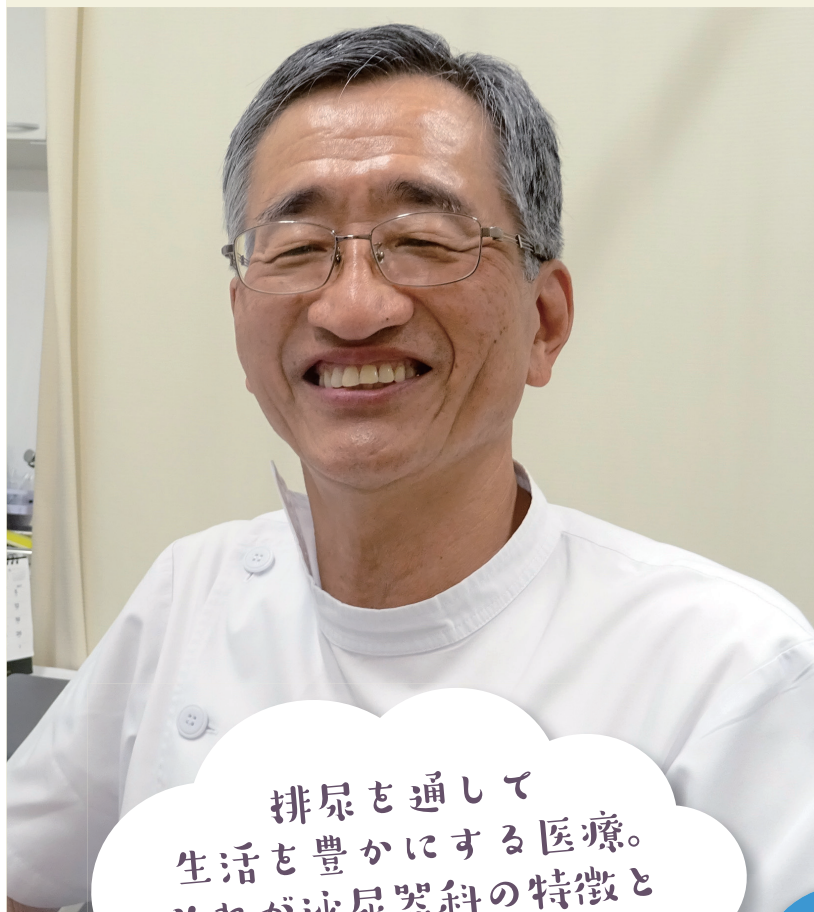
エスエル医療グループの中で唯一、この泌尿器科を専門とするクリニックが7階フロアにある。それが「つじ泌尿器科クリニック」だ。2024年7月開院と、真新しいクリニックだが、院長の辻 克和医師は40年にわたって名古屋市内の中核病院や大学病院でキャリアを積み上げてきた泌尿器科領域のスペシャリスト。開院間もないながらも辻院長の診察を求めて多くの患者が来院。グループの中でも無くてはならない存在として確かな存在感を放っている。

「泌尿器科に関わる幅広い疾患を診せて頂き、グループの診療レベルを上げるサポートができればと考えています」

こう、優しい笑顔で語る辻院長に自身の歩みからクリニックでの取り組みまで、幅広いお話を伺った。

エスエル医療グループ唯一の 泌尿器科専門クリニック

40年に渡って最前線をひた走ってきた
泌尿器科のエキスパート



排尿を通して
生活も豊かにする医療。
それが泌尿器科の特徴と
いえられるかもしれません

つじ泌尿器科クリニック



頻尿などの排尿障害には細やかな生活指導や投薬管理で改善に導く QOL（生活の質）の向上で患者に喜びを届ける

つじ泌尿器科クリニックには排尿困難や頻尿・尿失禁などの排尿障害に悩む患者の受診も多い。こうした患者に対しては、専門医として薬の処方や生活指導を実施する。「例えば夜間頻尿の方であれば、

開業から1年以上が経過。辻院長は、「外来中心のスタイルの不慣れや膨大な紙カルテから電子カルテへの移行など、大変なこともありましたが、今はようやく落ち着き、患者さんをお待たせすることもありますが、当初より短縮できているかなと思います」とこまめを振り返る。

現在クリニックでは診断や生活指導、薬の処方の外来診療をメインに、皮膚腫瘍切除や包皮環状切除などの小手術や一部自費診療メニューを提供している。「前立腺がんや膀胱がんなどの病変を早期に見つけること、的確な診断をつけることを特に大切にしています」

確かな診断のために検査設備を充実させ、尿沈渣の自動解析装置、腫瘍病変などの発見につながるエコーは最先端のものを導入。膀胱がんの診断に必須の膀胱鏡検査も、男性では痛みの強い硬性鏡ではなく痛みのない軟性ファイバーを用いている。検査室には尿検査用と尿の勢いを調べる尿流量率測定用の二つのトイレを院内に完備。他にも前立腺がんのリスクを調べるPSA検査やPSA高値に対する精密検査を積極的に行うなど、まさに大病院並みの検査体制が整えられている。「泌尿器科疾患を正確に診断できることはもちろんですが、加えて他の領域の病変が早期に見つかるケースもあり、検査設備の充実により幅広い疾患の早期発見につながっています」



開業1年、外来診療のほかに小手術も施行 最先端の検査設備を駆使して泌尿器科疾患、特にがんの早期発見に力を注ぐ

エスエル医療グループで開設当初から長年にわたり親しまれてきた夏目泌尿器科が閉院を迎えようとしていた。後を引き継ぐドクターとして、数年来外来を担当してきた辻院長に白羽の矢が立った。そしてついに昨年、新たなフロア、新たな検査機器、そして新たなスタッフに入ってもらい、つじ泌尿器科クリニックが誕生した。



笑顔で皆様をお迎えします

長く病院勤務医として働いた中で辻院長は、悪性腫瘍・尿路結石・排尿障害・腎移植など幅広い分野の手術を最前線で行ってきた。特に繊細な手術手技を必要とする小児泌尿器科に興味を持ち、尿道下裂など先天疾患の形成手術や体が小さく困難な内視鏡下の結石手術も数多く治療し、スペシャリストとして県内外の患者を受け入れてきた。

「低侵襲の腹腔鏡手術やロボット支援手術といった最先端の治療は泌尿器科領域においていち早く導入され、私も現場の最前線で進化する手術を手掛けてきました。泌尿器科を選んで良かったという想いとともにやりがいをもって取り組んで来ました」

そんな充実した医師人生を送っていた辻院長にもいつしか定年の時期が訪れる。「医師人生の仕上げとして、独立開業を考えはじめました」

PROFILE

辻 克和 (つじ・よしかず)

7F

1958年 滋賀県彦根市出身
1984年 名古屋大学医学部卒業
1984年 名古屋掖済会病院 研修医
1986年 名鉄病院 泌尿器科医師
1988年 名古屋大学医学部附属病院 泌尿器科医員
1991年 同 泌尿器科助手
1998年 社会保険中京病院（現 JCHO 中京病院）泌尿器科医長
2002年 同 泌尿器科部長
2024年 エスエル医療グループ参加

資格

医学博士、日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本小児泌尿器学会専門医、日本泌尿器科内視鏡・ロボティクス学会腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医、ダヴィンチライセンス

夏目 紘 (なつめ・ひろし)

1944年 愛知県出身
1970年 名古屋大学医学部卒業
1985年 7月～2024年 6月 夏目泌尿器科院長

INFORMATION

所在地 日丸名古屋ビル 7F

TEL 052-951-2212

FAX 052-951-2213

設立 2024年

診療内容 泌尿器科、性感染症内科、小児泌尿器科、手術、自費診療、セカンドオピニオン

診療時間 (月・火・木・金) 9:00～12:30、14:00～17:00
(水・土) 9:00～12:30

※第2、4木曜日は夏目医師の診察となります
(休診日) 日祝、水・土曜午後、夏期休暇（お盆）、年末年始



患者さんのメッセージ

頻尿・排尿困難・尿失禁などの排尿障害、尿路感染、尿路結石、血尿の精査、前立腺がん（PSA）検診と精査、小児泌尿器科疾患、性感染症、男性不妊やEDなど広範囲の泌尿器科疾患に対して、尿沈渣の自動分析・尿流量率測定・超音波装置・膀胱軟性ファイバーなどの最新機器を用いて正確な診断と治療を行っています。丁寧な説明を心掛けお子様からご年配の方々まで、スタッフ一同皆様から信頼されるクリニックを目指しています。お気軽にご来院ください。

<https://tsuji-urology-cl.com/>

しかし悪性腫瘍が見つかった場合は病院での治療経験を生かして、「例えば早期前立腺癌が見つかった方には手術や様々な放射線治療が選択できること。低リスクの癌では監視療法も選択ができること。また高齢や進行した状態で発見されても、ホルモン治療で進行を止めることが可能なことを詳しく説明しています」

今後については、「受診しやすい環境を整えるとともに、当院でできる手術の領域をもっと増やして、泌尿器科領域で悩む全ての患者さんの力になっていきたい。少しでもお悩みの症状があれば、お気軽に受診して頂ければと思います」

専門医として豊富な経験と知見、人脈が強みの辻院長。一方で彼の親しみやすい優しい笑顔も患者を癒す大きな武器となっている。



軟性ファイバーで痛みの少ない膀胱鏡検査

寝る前や夜間起床時の水分摂取は、何度も起きる原因になるため控えるようアドバイスさせて頂きます。中には、『かかりつけの医院で脳梗塞予防の観点から寝る前の水分摂取を勧められた』とおっしゃる患者さんもいらっしゃいますが、重要なのは水分摂取のタイミング。夜寝る前ではなく昼間にしっかりと摂って頂く形が理想です。もちろん猛暑の時期は別ですが」

生活の中での細やかなアドバイスと投薬管理で症状を改善へと導く辻院長は、「これが開業医ならではの醍醐味だと思います。お一人おひとりに合ったオーダーメイドな治療によりQOL（生活の質）が高まると患者さんに凄く喜んで頂ける。開業して良かったなと思う瞬間ですね」と話す。さらに、「排尿を通して生活を豊かにする医療。それが泌尿器科の特徴といえるかもしれません」とも。